



平成21年佐用町の災害ボランティア



平成16年豊岡市での災害ボランティア

そうせいサポーターズより

「応無所住、而生其心」気は大・朗にして何事にも拘わらない時、どんなことでも成し遂げてゆく最上無上の健やかな心が生まれる。この思いを抱き「古ヲ裂キ今ヲ破ル」の新旧に捉われず今大切なものを選ぶ精神で大活躍の全国曹洞宗青年会各位には賛辞と感謝願志を申し上げます。昭和五十年十一月発会されました当時の先人達の「苦勞・情熱・信念は固り知れませんが、今も尊敬と敬慕の念を以て継承され益々の発展拡充が期待されています。今後更に活動に心血を注いでいただき、混沌とした世相に御仏の光明を掲げ、禅風の高揚と共に宗門信仰へのいざないとしての力と、本来寺院が持つ三機能「学び・癒し・楽しみ」の力が発揮される事を願って止みません。



兵庫県第二宗務所 所長 渡邊 俊明

大震災を契機に、三本の矢が一つになつてより一層の活動をしている青年会を誇らしく、また、寂しい一面も覗えつつ、見守っております。ただ、お願いしておきたいのは、「指示待ち症候群」にはならないでいただきたい。これは、当青年会に限らず、各県の青年会にも言っておきたいです。それと、「継続」です。続ける事により、主軸である「根」がしっかりとてきます。根が腰を降ろし幹が太くなつていけば、新しい枝や新しい芽がついてくるはず。年輪はもう十五です。いや、まだ十五なんです。今後のより一層のご活躍を期待します。



初代会長 平岩浩文

現在の活動

青年会設立から15年目を迎え、現在29名で活動しております。

青年会の活動として、青年僧の本分として欠かすことのできない「研鑽」、会員同士が和合僧を持つて長く活動していくための「親睦」も大切な活動ですが、特に設立のきっかけとなった阪神淡路大震災に代表される災害ボランティアを含む「奉仕」活動に力を入れていきます。

近年兵庫県では平成7年に発生

片瀬道昭



した阪神淡路大震災、平成16年の台風23号による豊岡市の水害、昨年の佐用町での水害等、甚大な被害を出した災害が多数発生しました。

被災地でのボランティア活動の中で、一人の力ではできないことも皆の力が集まれば実行達成することができると痛感しました。また、毎年篠山市で開催される「全国車いすマラソン」や豊岡市の児童福祉施設の子供たちとの交流を図る「豊岡ONEらいふ」へのボランティア参加も続けております。社会の青年僧に対する要請を思慮する時、青年会として、個人として、また現代に生きる僧侶として、



「豊岡ONEらいふ」での交流

てどのように社会と関わっていくかということが大変重要になると思っています。今後も青年会活動を通して、未熟な私たちが多方面と接点を持ちながら一人ひとりが色々な場所で自ら行動を起こしていく機縁になればと考えています。



毎年の寒行托鉢

寺院用仏具・仏壇、修理・製造

株式会社 鳳龍堂

〒963-8061 郡山市富久山町福原字福原62
フリーダイヤル 0120-228602
TEL 024 (922) 8602
FAX 024 (939) 1673
定休日・毎週日曜日 ●営業時間 AM9:00~PM6:00